

主な施策	事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI（成果指標①）							KPI（成果指標②）							R7当初 予算額 （千円）	R7決算額 （千円）	評価	主な取組と成果に対する評価	今後の 方向性					
					指標名	基準 年度	基準値		中期 目標	R7目標値	R7実績値	達成率	指標名	基準 年度	基準値	中期 目標	R7目標値	R7実績値						達成率				
Ⅰ「稼げるまち」の実現																												
道路ネットワークの整備	1	主要な道路の整備（恒見朽網線など）	主要な街路・道路事業を重点的かつ速やかに整備することとで、市内の渋滞対策、物流ネットワークの強化、地域間の連携・交流促進を図る。	道路計画課	道路整備による所要時間短縮の合計値	—	—		R13年度までの目標：52.8分	9.4分		9.4分	100.0%									2,890,913	2,225,728	順調	都市計画道路八幡鞍手線の一部である楠橋楠北1号線（延長710m）や、都市計画道路砂津長浜線（延長700m）が供用開始され、計画通りに進捗している。 災害時にも機能する、信頼性・機能性の高い道路ネットワークの整備が進んでいるため、「順調」と判断。	継続		
	2	自動車専用道路ネットワークの整備	港湾・空港・鉄道ターミナルなど、拠点間を結ぶ交通・物流ネットワークの構築や地域間の連携・交流促進を図るため、環状放射型自動車専用道路ネットワークの整備を推進する。	道路計画課	枝光ランプ～戸畑ランプ間の所要時間短縮値	—	—		R15年度までの目標：25.5分	単年度目標設定なし		—	—										1,861,000	1,382,451	順調	戸畑枝光線の令和15年度の供用開始に向け、令和7年度予定していた道路改良工事（推進工事一式（R7年度施工分））は計画通りに完了しているため、「順調」と判断。	継続	
Ⅱ「彩りあるまち」の実現																												
官民連携によるまちづくりの推進	3	折尾地区総合整備事業（都市構造）	折尾駅周辺のにぎわいづくりを推進する。	折尾総合整備事務所	賑わい空間を活用したイベント回数の増加	R3	40回		—	112回		132（累計326,719人参加）回	117.9%									4,500	48,800	順調	都市再生整備計画に基づき事業が進んでおり、令和7年度は、折尾みんなのレール公園等の整備が完了し、折尾地区のにぎわいづくりに寄与した。 評価については、令和6年度までに整備を完了した施設を対象に、にぎわい空間におけるイベント開催回数は目標値を上回っており、にぎわいの創出が図られている。また、イベント参加者数も年度を追うことに増加しており、活気あふれる空間が創出されていることから、「順調」と判断。	終了		
	4	都市再生整備計画（公園）	官民が連携し、東田地区の公共空間の魅力向上を図るとともに、観光交流拠点の核にふさわしい都市環境の形成を推進する。	公園計画課	東田地区の主要地点における歩行者通行量（都市再生整備計画に係る調査・毎年度）	R2	11,356人/日		R7年度までの目標：13,000人/日	13,000人/日	14,242人/日	109.6%										100,000	48,800	順調	東田大通り公園にイベント広場、芝生広場を整備した。これらの空間を活用し、民間によるイベントが開催されるようになり、東田地区の文化施設群と商業施設をつなぐ回遊軸、回遊核が形成され、歩行者通行量が増加したため「順調」と判断。	継続		
「北九州の台所」旦過地区のまちづくり	5	旦過地区再整備事業	長年市民に親しまれている旦過市場の魅力向上と、市場に隣接する神嶽川の治水安全度の向上のため、河川事業と一体となった旦過地区の再整備を推進する。	神嶽川旦過地区整備室	特定消防区域（木造密集地）の解消	R1	特定消防区域（木造密集地）：5,278㎡		R9年度までの目標：解消率100%	解消率75.0%	%	75.0%	100.0%	計画規模降雨（1/50年確率）に耐えうる河川整備の完了	R1	0.0	事業進捗率/%	R13年度までの目標：事業進捗率100.0%	30.0	事業進捗率/%	30.0	事業進捗率/%	100.0%	2,806,076	2,243,634	順調	旦過地区区画整理については、南側の立体換地建築物整備エリア（A地区）や大学・市場共同施行建築物整備エリア（BC地区）において、既存建物の解体が完了し、特定消防地区の解消が計画どおり進捗している。神嶽川の河川改修についても計画どおり進捗しているため、「順調」と判断。	継続
魅力ある住環境の整備	6	折尾地区総合整備事業	駅を中心とした道路改築工事を推進する。土地区画整理事業区域内における宅地や道路整備を推進する。	折尾総合整備事務所	進捗率	R5	89.0%		R10年度までの目標：100%	95.0%	%	89.0%	93.7%									3,251,152	2,202,965	概ね順調	街路事業や土地区画整理事業において、住環境の整備が着々と進み、概ね計画通りに進捗しているため、「概ね順調」と判断。	継続		
Ⅲ「安らぐまち」の実現																												
浸水・治水対策のインフラ整備などの促進	7	主要河川の整備	近年、激甚化・頻発化する豪雨災害等の浸水被害を抑制するため、治水事業の根幹となる河川改修を実施する。	水環境課	浸水被害の低減（河川の護岸整備完了）	R5	2河川		R11年度までの目標：4河川	2河川		2河川	100.0%									1,379,000	1,923,800	順調	浸水被害の低減を目標とした河川護岸整備は、令和7年度目標の2河川完了を達成しているため、「順調」と判断。 今後も国や県と連携しながら、計画的な河川整備を進めていく必要がある。	継続		
	8	豪雨災害から市民を守る緊急対策事業	平成30年7月、令和7年8月豪雨により被害が発生した河川の改修や河川情報システムの強化等により、市民が安全・安心を感じるまちづくりを推進する。	水環境課	浸水被害の低減（河川の整備完了）	R5	4河川		R7年度までの目標：5河川	5河川		4河川	80.0%									508,800	562,375	概ね順調	浚水した普通河川の改修事業については、地元と合意形成を図りながら、着実に進めている。また、河川情報システムの強化対策についても、水位計や監視カメラの設置等を予定どおり進めている。以上のことから「概ね順調」と判断。 今後も、計画的な河川整備を進めていく必要がある。	継続		
通学路の安全対策の強化	9	通学路の安全対策	登下校中の児童が交通事故に巻き込まれず、安全に安心して通学できる環境を整えるため、教育委員会や学校関係者、警察と一体となって、さらなる通学路の安全対策を推進する。	道路計画課	子どもが関連した事故件数の減少	R6	54件		—	R6年比減少		47件	113.0%									1,037,585	807,247	順調	通学路交通安全プログラムに基づき、学校・地元・警察と協働して、安全点検・安全対策を実施し、子どもが関連した事故件数が令和6年度と比較して減少していることから、「順調」と判断。	継続		